



公開シンポジウム

若手アカデミーが考えるシチズンサイエンスに基づいた学術横断的社会連携

日時：平成30年7月28日（土）13:30～16:30

場所：日本学術会議講堂（東京都港区）

参加申込不要・参加費無料

【基調講演】

「オープンな情報流通によって変容するシチズンサイエンスの可能性」

林 和弘

（文部科学省 科学技術・学術政策研究所 上席研究官）

「シチズンサイエンスは学術研究をどう変えるか」

中村征樹

（日本学術会議 若手アカデミー会員・連携会員, 大阪大学全学教育推進機構 准教授）

【話題提供】多様な学術分野におけるシチズンサイエンスの課題と可能性

「心理学におけるシチズンサイエンスの可能性」

高瀬堅吉（日本心理学会認定心理士の会運営委員会 委員長）

「ヒューマンインタフェース学におけるシチズンサイエンスの可能性」

福森 聡（日本ヒューマンインタフェース学会若手の会 代表）

「公衆衛生におけるシチズンサイエンスの可能性」

長谷田真帆（東京大学大学院医学系研究科 博士研究員）

林 和弘（はやし かずひろ）

日本化学会学術情報部課長を経て現職。学術雑誌の電子化をきっかけにオープンサイエンス政策に役立つ調査研究を一貫して行い、G7科学技術大臣会合の作業部会、内閣府の検討会、OECDの会合等において、その知見を国内外に生かす。



中村征樹（なかむら まさき）

東京大学大学院工学系研究科助手、文部科学省科学技術政策研究所研究官を経て、現職。科学技術と社会の関係の変容について、歴史的観点から研究してきた。サイエンスカフェなど、研究者と市民の対話を促す場のデザインとその普及にも携わる。



【アクセス】
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口
〒106-8555
東京都港区六本木 7-22-34

主催：日本学術会議 若手アカデミー イノベーションに向けた社会連携分科会
日本学術会議 心理学・教育学委員会 社会のための心理学分科会

共催：公益社団法人 日本心理学会

後援：国立研究開発法人科学技術振興機構
科学技術社会論学会